

平成22事業年度

決算報告書

自：平成22年4月 1日

至：平成23年3月31日

国立大学法人神戸大学

国立大学法人神戸大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	21,847	20,720	1,127	(注1)
施設整備費補助金	1,344	1,543	198	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	1,165	1,647	482	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	87	78	9	
自己収入	35,004	35,877	873	
授業料、入学料及び検定料収入	9,730	9,687	43	
附属病院収入	24,894	25,797	904	(注4)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	381	393	12	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,547	5,809	738	(注6)
引当金取崩	231	215	16	
長期借入金	357	115	243	(注7)
貸付回収金	21	17	5	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	929	636	293	(注8)
計	67,533	66,656	877	
支出				
業務費	50,614	51,074	460	(注9)
教育研究経費	25,821	24,781	1,040	
診療経費	24,793	26,293	1,500	
一般管理費	4,783	2,914	1,869	(注10)
施設整備費	1,789	1,736	53	(注11)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	1,165	1,647	482	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,546	5,374	1,173	(注13)
貸付金	22	10	12	
長期借入金償還金	2,614	2,614	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
計	67,533	65,368	2,164	
収入 - 支出	0	1,287	1,287	

予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当における退職者の減少、翌年度以降の事業経費として使用する学内プロジェクト事業に伴う業務達成基準の適用により、予算額に比して決算額が1,127百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、22年度補正予算(予備費)が措置されたため、予算額に比して決算額が198百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、22年度補正予算(設備整備費補助金)が措置されたため、予算額に比して決算額が482百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、診療報酬改定、高額薬剤使用及び外来患者数の増加等により、予算額に比して決算額が904百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として不用物品売払代、学校財産貸付料及び著作権及特許権等収入等の増により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたが、予算額に比して決算額が738百万円少額となっています。
- (注7) 長期借入金については、東北地方太平洋沖地震によって借入物品の納期変更による借入を延長したため予算額に比して決算額が243百万円少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、当初見込んでいた取崩をしなかったため、予算額に比して決算額が293百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、教育研究経費において人件費等の経費節減に努めたが、診療経費については、(注4)に示した理由(収入増による費用増)等により、予算額に比して決算額が460百万円多額となっています。
- (注10) 一般管理費については、人件費等の経費節減に努めたため、予算額に比して決算額が1,869百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費補助金については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が53百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が482百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,173百万円少額となっています。